

令和3年度 総務部長マニフェスト

総務部長

長根 英俊

【基本方針】

職員の能力を引き出し、効率的・効果的な職務の遂行に資するために、各種研修への参加を促し個々の能力向上を図るとともに、組織の効率化と適切な人事配置により、質の高いサービスが提供できる職場環境を目指します。

予算編成は、人口減少による歳入の減少が進むことが予想されることから、事業の必要性、効果、効率性等を徹底的に検証し、施策の優先度に応じた財源の最適配分により一層の「選択と集中」を進め、限られた財源の重点的かつ効果的な活用に努め、市の収入に合わせた予算編成に努めます。

災害対策では、津波避難訓練や防災講演会等の実施により市民の防災意識の高揚を図るとともに、大規模災害時の共助の要である自主防災組織を結成し、地域の防災力の向上に取り組みます。

【重点目標】

1. 職場環境の整備と人材育成

コロナ禍で経験した感染症の感染拡大時にも対応し得る組織の在り方について検討するとともに、行政需要に対応した組織・人事体制の構築、長時間労働の縮減等の働き方改革により、ワーク・ライフバランスの取れた職場環境の実現に努めます。また、人材育成のため、職員研修充実、積極的な受講促進等に取り組みます。

- ・ 超過勤務時間の縮減に向け、職員の超勤の状況を把握し、随時所属長から聞き取りを行い、1人当たり年間超過勤務時間の削減（R2実績116時間→R3目標104時間）を目指します。（選挙事務及び新型コロナ対応事務を除く。）
- ・ 計画的な有給休暇の取得を推進するため、定例部課長会議や庁議等での働きかけを行い、1人当たり年次休暇の最低取得日数7日（R2年実績で取得日数が6日以下の職員98人の減少）を目指します。

2. 財政健全化への取組

市税等の自主財源の確保に努めるとともに、事務事業の選択と集中を図り、財源の適正配分により適正規模の予算を編成します。

- ・ 自主財源の確保のため、滞納者への早期アクションを行い、市税等の収納率の向上（現年分(R3.2月末)収納率91.5%から0.2%増）を目指します。【コロナ影響】
- ・ 財政の健全化のため、枠配分予算の導入検討を進め、令和4年度当初予算の一般財源の縮減（2億円減）及び市債プライマリーバランスの黒字化を目指します。

3. 市民の防災意識の醸成と向上

防災に関する情報の適時適切な情報発信、津波避難訓練や自主防災組織の活動支援等により市民の防災意識（まずは避難そして助け合い）の醸成と向上に取り組みます。

- ・ 地域防災力の向上のため、随時広報を行うほか、個別地域に出向いて自主防災組織の役割と必要性を訴えるなどして結成に向けた支援を行い、自主防災組織の新規結成5団体を目指します。
- ・ 防災意識の醸成と向上のため、市街地住民を含めた新たな津波避難訓練を実施し、津波避難訓練者の参加者2,000人を目指します。
- ・ 消防団員の確保のため、機能別消防団員制度の導入及び待遇改善の検討を進め、消防団員充足率の向上（R2実績88.02%→R3目標90%）を目指します。

※【コロナ影響】…新型コロナウイルス感染症の影響を受けることが予想される目標